

すいすい水族館

海浜水族館 ☎(48)3761

読書の秋 本から見た水族館の世界

すいすい水族館では魚の話や水族館の特別展などを紹介してきましたが、今回は“読書の秋”にちなんで、水族館について書かれた本や、そこから見られる水族館の姿について紹介します。

市民図書館の本の検索システムで「水族館」と検索してみると、150件ほどの情報が出てきます。そのなかには海浜水族館の発行している年報や特別展解説書などをはじめ、当館に関わるものが35冊あります。

そのほかでは、全国の水族館の楽しみ方などのガイドブックや水族館の歴史、水族館のあるべき姿、使命・目的などが書かれた本などさまざまです。



あまり知られていませんが、川端康成全集のなかに「水族館の踊り子」という短編小説があります。これは、浅草にあった水族館を舞台に書かれています。

水族館の歴史の本を見てみると、日本の水族館の歴史は明治15年、上野動物園のなかにできた観魚室（うをのぞき）が最初であったと記載されています。

その後、明治32年にできた水族館が前述の浅草水族館であったとされています。川端康成の小説に出てくる水族館は実在していました。

その後は博覧会、大学の臨海実験所に水族館が次々とできていきました。知多半島の新舞子にも東京大学の臨海実験所水族館があったことが書かれています。

日本には現在63（日本動物園水族館協会加盟）もの水族館があり、なかでも愛知県には4つもの水族館があります。これだけ沢山の水族館があるのは世界的にも珍しく、水族館大国とも言われています。

秋の夜長に、いつもとちょっと違った水族館巡りをしてはいかがでしょうか。

元気っ子じゅうごう

掲載希望は
広報統計係まで

みおと
美吟ちゃん
(2歳)



パパ・ママより

星野 弘司さん、佳世さん
(鷺林町)

とってもおしゃべりでわんぱくな美吟！歌も上手に歌えるようになったね！いつかお父さんのバスと一緒に乗ろうね☆

もか
萌果ちゃん
(4歳)



パパ・ママより

石川 一成さん、紀絵さん
(鶴見町)

生まれたときは違う顔だったけど、最近はそっくりとよく言われます。けんかもするけど、とっても仲良しな2人。2人のママになれて本当に幸せ♡

ふうた
楓太くん
(2歳3か月)

まさあき
大聡くん
(9か月)



パパ・ママより

齋藤堂晴さん、理香さん
(川端町)

わんぱくで好奇心旺盛な大聡くん。いろいろなことを学んで、名前の通り、度量の大きい、聡明な人になってね。

広報へきなん No.1748 平成26年9月15日号

●編集・発行 碧南市役所秘書情報課広報統計係 〒447-8601 愛知県碧南市松本町28 ☎0566(41)3311、FAX0566(48)5101

✉hishojoho@city.hekinan.lg.jp <http://www.city.hekinan.aichi.jp/>

※回答が必要な場合は、住所、氏名を記載してください。

広報へきなんは古紙配合率100%、白色度75%の紙を使用しています。

